

MEET LOGI ! 2020 (ロジスティクス業界研究フォーラム)

製造業におけるロジスティクス のポイント

– 運ぶだけじゃない！ロジスティクスの仕事② –



1. 製造業のロジスティクスのポイント

- (1) ロジスティクスの定義
- (2) 生活の中のロジスティクス
- (3) 部門間での情報共有化
- (4) 包装へのアプローチ

2. ロジスティクスの魅力

- (1) ロジスティクスの魅力とは

1. 製造業のロジスティクスのポイント (1) ロジスティクスの定義

? 素朴な疑問?
『ロジスティクス』って、『物流の英訳ではないの?』

物流の定義 (ロジスティクス用語辞典より) : **Physical distribution**

商品の供給者から需要者・消費者への供給についての組織とその管理方法
およびそのために必要な**包装、保管、荷役、輸配送と流通加工**、ならびに
物流情報の諸機能を**統合した機能**をいう。

ロジスティクスの定義 (JIS (日本工業規格) より) : **兵站 (へいたん)**

物流の諸機能を高度化し、調達・生産・販売・回収などの分野を統合して、
需要と供給との適正化を図るとともに**顧客満足を向上させ**、併せて環境
保全、安全対策などをはじめとした社会的課題への対応を目指す**戦略的な
経営管理**。

通販における顧客満足を向上させる要素とは?

顧客満足の要素

品揃え

在庫量

スピード

主な担当部門

商品企画・営業

営業・生産・調達

物流

1. 製造業のロジスティクスのポイント (2) 生活の中のロジスティクス

在庫の持ち方



お客様のニーズに合わせて、商品をお届けする仕組み（在庫・物流）をロジスティクスという

1. 製造業のロジスティクスのポイント (3) 部門間での情報共有化

生産部門



組織目標

- ・生産効率の向上

評価指標

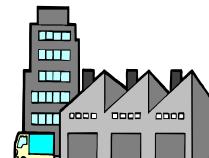
- ・製造原価低減

大口ットにて生産したい

- ・効率を高くする為、まとめて生産
- ・生産都合で計画作成
- ・計画の変更はしたくない

売れ筋商品の欠品を防ぐ為
過剰生産

物流部門



組織目標

- ・物流コストの低減

評価指標

- ・物流コスト低減

物量は少なくしたい

- ・積載効率を高くする為、まとめて輸送
- ・波動吸収の為の在庫が欲しい

売れなかった商品の滞留

販売部門



組織目標

- ・顧客サービスの維持
- ・売上予算の達成

評価指標

- ・売上の極大
- ・販売機会損失の最小化

欠品⇒不可⇒在庫多めに

- ・販売機会喪失が怖い
⇒在庫が少ないと不安

多めに発注

部門別の『部分最適』から、全社単位での『全体最適』へ

製販統合システムの構築による販売動向と在庫状況に合わせた生産体制の確立へ

1. 製造業のロジスティクスのポイント (4) 包装へのアプローチ

物流の要諦は、『空気を運ばないこと』

大手カップ麺メーカーでは、『天地交互入れ』という手法を使って、
ダンボール1ケース当たりの入数を増やす = 空気を運ぶ体積を減らす
ことにより、
トラックへの積載効率が向上すると同時に、
ダンボールの使用量の減少（環境負荷の軽減に繋がる）を実現！

■ 天地交互入れ



積載効率(10t車1台当たり)

従来梱包	天地交互入れ梱包
16,800食	22,800食
1	: 1.36

■ ダンボール使用量比較
(日清ラ王 1ケース12食入り)

従来梱包	天地交互入れ梱包
0.968 m ²	0.715 m ²
1	: 0.74

出典：国土交通省

ロジスティクスの魅力 その1

社会生活・経済活動を支える機能

⇒ モノが動く時には必ず発生し、絶対になくならない

物流は、経済・社会活動を支える機能として日常生活では当たり前なので、その存在の重要性に気づかない…



しかし、震災等が発生したとき、一番重要なのが、このロジスティクスになる



ロジスティクスの魅力 その2

全体を見渡せる業務範囲・知識

⇒ 「物流」で現場感覚を、
「ロジスティクス」で経営感覚を磨ける

例えば・・・

「生産」「営業」「お客様」「物流」関係者間の
不合理を調整し、仕組みを企画するか？



物流・ロジスティクスにはマジックもミラクルもない！！

ロジスティクスの魅力 その3

売上・利益を左右する機能

⇒ 「優良」と評価される企業は、必ず物流・ロジスティクスが『凄い』

通販業界の リーディングカンパニー



コンビニエンス業界の リーディングカンパニー



ようこそ、物流・ロジスティクス業界へ

